

「未来の地球環境はどうなるか？そして地球とともに生きるために何ができるか？ --

地球システム・異常気象・植生・自然災害--」

大気中の温室効果ガス増加にともなう地球温暖化とそれに伴う気候変動が起こり始めています。人類は加害者でもあり被害者でもあります。だから地球環境問題は難問なのです。もう一つの問題は、科学者達の最先端研究の知見が市民にほとんど伝わっていないという点です。三重大学・大学院生物資源学研究科・共生環境学専攻に「地球システム学講座」という名称の研究チームが今年4月に設立され、地球環境をシステムとして捉える統合的な研究体制が強化された日本でも希有なチームへと生まれ変わりました。そのような未来の地球を統合的に考える研究チームが地元・三重大学にあることを、市民・県民のみなさまはまだご存じないのではないかと感じます。公開講座では、チームの研究成果の一端を紹介すると共に、次代の文化形成と持続可能な地球社会の構築にむけて地元住民が世界に先駆けて行動するために何ができるか？これらをご参加いただくみなさんとともにアイデアを出し合い考える場とします。

1. 講義日程

平成27年10月31日（土）

13:00-13:10	はじめに	生物資源学研究科長 教授 梅川逸人
13:10-13:40	「多発する異常気象～その将来変化予測は？」	地球システム学講座 教授 立花義裕
13:40～14:10	「地質学的に見た地球の未来」	地球システム学講座 教授 坂本竜彦
14:10～14:40	「温暖化と凍土の変化」	地球システム学講座 准教授 渡辺晋生
14:40～14:50	休憩	
14:50～15:20	「環境変動に対する植生の応答」	地球システム学講座 講師 松尾奈緒子
15:20～15:50	「環境と防災のコンフリクト」	地球システム学講座 教授 葛葉泰久
15:50～16:10	会場の参加者を交えて「未来の地球環境」についての座談会	会場の参加者と松尾・渡辺・坂本・葛葉・立花

平成27年11月1日（日）

13:00～13:05	今日の講演の聞き所	生物資源学研究科・共生環境学専攻長 立花義裕
13:05～13:30	「持続可能な地球システム」	地球システム学講座 教授 坂本竜彦
13:30～13:55	「気候の未来予測情報を市民がどう活かすか？」	地球システム学講座 教授 立花義裕
13:55～14:20	前日の講演を基に「地球とともに生きるために何ができるか？」をメインテーマに 各講演者のショートトーク	坂本竜彦・葛葉泰久・松尾奈緒子・立花義裕
14:20～15:50	会場の参加者を交えて「地球とともに生きるために何ができるか？」についての座談会	会場の参加者と松尾・坂本・葛葉・立花
15:50～16:10	おわりに	生物資源学研究科長 教授 梅川逸人

※ 2日間連続のご参加を前提としますが、片方のみのご参加も可能

2. 会場・受講料・募集人数

会場：三重大学生物資源学部校舎 1階大会議室 受講料：無料

募集人員：高校生以上の一般の方 50名（先着順に受付）

3. 申込方法 「受講申込書」に必要事項を記入し、郵送、FAX、E-mail で申込み願います。

募集要項は、三重大学 HP 及び三重大学生物資源学部 HP にも掲載。

三重大学 HP <http://www.mie-u.ac.jp/>

三重大学生物資源学部 HP <http://www.bio.mie-u.ac.jp/>

4. 受付期間 平成 27 年 10 月 1 日（木）～10 月 23 日（金）まで

（土・日曜日を除く。受付時間 9:00～17:00 まで）※先着順に受付、定員になり次第締切。

5. 申込み先・問合せ先 〒514-8507 津市栗真町屋町 1577

三重大学生物資源学研究科チーム 総務担当

TEL：059-231-9673 FAX：059-231-9634 E-mail：bio-somu@ab.mie-u.ac.jp

6. お知らせ・会場案内図

○当日の受付は、12:30 から大会議室入り口で行います。

○会場及び駐車場は下図のとおりです。校舎の正面に案内板を立ててご案内いたします。

（交通案内）

- 近鉄江戸橋駅～三重大学正門 徒歩約 15 分
- 津駅東口バスのりば「4 番のりば」からバス乗車「大学前」下車約 10 分
- 自家用車でお越しの方は、本学の正門に入って左側の駐車場をご利用ください。



きりとり線

平成 27 年度 三重大学大学院生物資源学研究科公開講座受講申込書

ふりがな					※受付番号
氏名			年齢	性別	男・女
現住所	〒				
連絡先電話番号			メール		

（注）※欄には記入しないでください。

ご記入いただいた個人情報は、必要な連絡を行う場合にのみ使用し、この目的以外に使用することはありません。